

## 第 10 回/オンライン

# 振り返り:課題発見グループディスカッション

### 授業全体の目的

- ・ 体験から得た気づきから将来のなりたい姿に向けた課題やできることを見つける
- ・ 発表に向けた準備を行う
- ・ プレゼンテーションの基礎知識を知る

### 終了後の学生のイメージ

- ・ 体験や気づきを社会課題と関連づけ理解を深める
- ・ 2 回の体験を経て気づいたことを整理する
- ・ プレゼンテーションの基礎が分かる

### 進行の詳細

時間	内容の詳細	備考・留意点他	資料
【10分】	振り返り (3~4) 目的: 全体の授業を思い出す ーキャリアについての講座・ 自分自身の強みや軸を洗い出 すワーク、両立について歴史 的背景と子育ての価値観の変 化について、ジェンダーや女 性支援分担意識・固定概念に ついて、子どもの成長や両立 家庭についてなど様々なこと を学んだ。		

<p>【35分】</p>	<p><b>体験気づきワーク（5～9）</b>          疑問、課題の共有、整理          目的…体験を経て感じた疑問          や課題を共有する          ー体験気づきワークでは、こ          の授業を受ける前と後でどの          ようなイメージの変化が起き          たか振り返りながら整理して          みましょう。          ー最終プレゼンテーションで          の発表テーマは、「10年後          の理想の姿を実現するため          に」です。          ー目標設定でみなさんにはな          りたい姿を考えていただきま          した。そして、実習・ヒアリ          ングなどの授業を通して現状          を把握したり今の状態を明確          化しました。          なりたい姿を実現するため、          現状となりたい姿の間にはギャ          ップがあります。このギャ          ップを埋めるためのアクショ          ンアイデアを考えていただ          きます。          ー考え方のステップとして          は、社会人のお話をきたり実          習で感じた疑問や大変だと思          ったことを洗い出し、原因を          検討、理想を実現するために</p>	<p>※受講前、共働きの家庭は「子どもを預けて申し訳ないと思っている」と考えていたが、体験後「子どもを預けることでたくさんの方から学んでいる」とわかった。のように前後でのイメージと体験してわかった事実の整理を行うことで改めて両立を見直す。</p> <p>※改めて、10年後の理想の姿を統合も含めて記入し、講座受講後の将来象の変化を認識する。</p>	<p>10_3_1          _振り返りワークシート</p>
--------------	---	--	--

	<p>どんなやり方があるのか考えます。</p> <p>①ワークの説明</p> <p>②個人ワーク（15分） ワークシート記入</p> <p>②疑問や課題を共有する(体験のペア：5分)</p> <p>③10年後統合ワークシート記入（10分）</p> <p>授業開始前と開始後の目標設定が変わったかどうか？</p>		
【35分】	<p><b>課題解決ワーク～プレゼンテーマ設定～（10～18）</b></p> <p>目的…10年後どのような姿になっていたら良いか考える</p> <p>①ワークの説明（5分） 体験・気づきのワークを元に、課題・疑問に感じたことを5つ書き出します</p> <p>②個人ワーク（8分） ワークシートに記入</p> <p>③グループごとに共有（5分）</p> <p>④プレゼンテーマ記入（8分）</p> <p>課題にあげたものの中から、プレゼンテーションでとりあげたい課題を1つ選び、ビジ</p>		<p>10_3_1_ 振り返りワークシート</p> <p>10_3_2_ プレゼン用テンプレート</p>

	<p>ヨンと解決アイデアなどワークシートに記入</p> <p>⑤共有 5分</p> <p>ープレゼンテーション用のフォーマットの説明</p>	<p>※フォーマットの紹介（フォーマットを参照してください）</p>	
【10分】	<p><b>プレゼン講座（29～33）</b></p> <p>目的…プレゼンテーションの作成・実施のポイントが分かる</p> <p>プレゼンテーションの作成・実施に向けた説明</p> <p>プレゼンフォーマットの共有と紹介</p> <p>プレゼンとは</p> <p>プレゼンテーションを行う目的とは、なんらかの報告ではなく、聞き手に伝わり「行動してもらおうこと」</p> <p>今回の目的は自分の将来の実現に向けて協力者や情報を求めること</p> <p>前に立って話せば伝わると思わないこと。相手に利益や興味を持たせないと聞いてもらえない。相手のニーズはなんなのか？を考えて作成する。</p> <p>今回のニーズは、受講生の皆</p>	<p>※プレゼンテーションのゴール設定を示す。</p> <p>プレゼンで期待していることの共有。</p>	

	<p>さんの素敵な将来に向けて協力できることがないのか？ということ</p> <p>プレゼンテーションに期待していることは 「実習を体感した学生自身の考え」</p> <p>その上で、プレゼンテーション作成後に客観的に構成を確認してみよう。</p>		
【10分】	次回について		